

Flash Editor MAZDA ATENZA [GJ2##] / CX-5[KE2#W] 対応済ECU ID 一覧



発行日：2017/1/5

【注意】本製品をご使用の際は、別途下記が必要となります。

- ・ Windows パソコン (Windows10、8、8.1、7 の何れか)
- ・ USBケーブル (USB[A]オス - USB[micro-B]オス)

※ 未対応 ECU IDの車両ではFlash Editorを使用することは出来ません。

※ Flash Editorは、純正ECU、純正ノーマルデータの場合のみに対応しています。
既に他社製リフラッシュツールで書き換えられたECUで使用すると、ECUが動作しなくなる場合があります。

※ DPF再生中はブーストが抑えられ i-stopが動作しなくなりますが、この動作はメーカー純正の制御によるものなので Flash Editorで変更することはできません。

※ インテークマニホールド内にカーボンが過剰に付着していると、車両の動作が不安定になることがあります。
PHASEデータでのパフォーマンスを十分に発揮させるために、定期的な車両のメンテナンスをお勧めします。

42015-AZ102 MAZDA ATENZA[GJ2##] 対応年式：2015/1～2016/7

※ 6MT車両は非対応 ○：対応済

Transmission	6EC-AT												備考	
ECU ID	SH5F-18881-B		SH5F-18881-C		SH5H-18881-B									
Custom DATA	PHASE1	PHASE2	PHASE1	PHASE2	PHASE1	PHASE2								
初期化ツールVer. 12.06	○	○	-	-	○	○								
初期化ツールVer. 12.07	○	○	○	○	○	○								

42015-AZ102 MAZDA CX-5[KE2#W] 対応年式：2015/1～2016/7

○：対応済

Transmission	6EC-AT												備考	
ECU ID	SH6P-18881-C													
Custom DATA	PHASE1	PHASE2												
初期化ツールVer. 12.06	○	○												
初期化ツールVer. 12.07	○	○												

Custom DATA 仕様

初期化方法	データ名	データ仕様	備考
T/Cで初期化後のデータ	PHASE1	スピードリミッターカット	
	PHASE2	スピードリミッターカット + ブーストアップ + DPF再生タイミング最適化	

ECU IDの確認方法

- ① エンジンを停止する。
- ② 車両のOBD IIコネクタにFlash Editorを接続する。
- ③ IGをONにする。(エンジンは掛けない)
- ④ Flash Editorのメニュー画面からEDITOR STATUSを選択する。
- ⑤ [This ECU DATA] の ECU IDを確認する。
- ⑥ IGをOFFにする。

初期化ツールVer.の確認方法

- ① 同梱のUSBメモリをパソコンに接続し、USBメモリ内にある初期化ツール (SKYACTIV-D_InitializationTool.exe) を実行する。
- ② 初期化ツールのウインドウ左下に表示される、Versionを確認する。